

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	有田町立有田小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 校長のリーダーシップのもと「有田大好き 進んで学ぶ さわやか有田っ子」を合言葉に、全職員が丸一となって学校目標の実現のため全力で取り組んだ。授業研究会においても、毎回全職員で授業づくりを行い、「共通理解・共通実践」できた。 保護者、PTA、地域との連携は、中止や規模縮小等状況に応じて判断することが続いたが、できる限りのことはやり方を工夫して行い、学校評価保護者アンケートにおいても肯定的に評価していただいた。来年度は、「コロナ禍でできなかったから例年通り実施」「やり方を考え実施」「対教育効果を考え実施しない」等、行事の精選の視点も入れ協議していく。 「子どもを知る会」を毎週水曜日に実施し、全職員で「気になる子」への支援を共通理解できた。学校・児童に関わる危機の未然防止・早期対応のための貴重な会議となっている。今後も続けていきたい。 今年度の重点項目に加え、来年度は一人1台タブレットが配置されたメリットを生かし、「ICT利活用教育の推進」にも力を入れていきたい。
2 学校教育目標	ふるさとを愛し、自ら学び、たくましく生きる児童の育成
3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 学力向上を目指し、主体的で対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。また、ICT利活用教育を推進していく。 特別支援教育を充実させ、気になる子への支援を全職員で組織的・継続的に行う。 地域と連携した教育を推進し、児童が郷土を愛し、誇りに思う心情を育てる。

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1) 共通評価項目				進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組							
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師を90%以上にする。	・授業づくりのステップ1. 2. 3を意識した授業作りを行う。							研究主任 学力向上対策コーディネーター
	○児童が主体的に学ぶ授業改善(学校独自重点取組・任意)	○全学級で授業研究会を実施する。 ○「課題解決のために自分から進んで考えて授業に取り組んでいる」と回答する児童を90%以上にする。	・自分の考えを広げ深めさせるための「書く活動」と「話し合う活動」を効果的に位置づけた授業を行う。 ・全職員が、全学級の模擬授業に関わり、共通理解のもと授業研究会を行う。							研究主任 学力向上対策コーディネーター 学習部
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「友達を大事にして、仲良く過ごすことができた」と考える児童の割合を90%以上にする。	・ふれあい道徳などの公開授業やふれあい活動(縦割り班活動)の中で、思いやりや感謝の気持ちを育てる。							道徳教育推進教員 人権・同和教育担当 特活・生活部 教育相談担当
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○人権・同和教育、道徳教育を充実し、「いじめ防止に努めた」と考える教職員を90%以上にする。	・Q-Uテストや毎週の「元気カード」の結果をもとに、児童理解に努める。 ・個人面談を行い、一人一人の児童と担任等との対話を積極的に行う。							道徳教育推進教員 人権・同和教育担当 特活・生活部 教育相談担当
●健康・体づくり	○「運動習慣の改善や定着化」	○授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童を60%以上にする。	・週に1度、屋休みにクラスで遊ぶ日を設定する。 ・休み時間や屋休みに、スポーツチャレンジや持久走、なわとびに取り組む。 ・屋休みに外遊びを奨励する。							保体部
	●安全に関する資質・能力の育成(学校独自重点取組・任意)	●児童の交通事故をゼロにする。	・1学期に交通教室、学期始めに集団登校、毎月1回集団下校を行う。 ・登校班の確認、通学路の点検を防犯ふれあい隊と連携し、見守り活動を推進する。							生活部 安全教育担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・会議時間の縮減に努める。 ・出退勤システムで、職員の時間外勤務を常時把握する。 ・18時30分までの退勤を促す。							管理職
	○定時退勤日の設定	○定時退勤できたと思う職員を80%以上にする。	・定時退勤日を設定し、定時に帰るように呼びかける。							管理職
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目										
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	主な担当者
○特別支援教育の推進	○全職員による共通理解と組織的支援	○「支援を要する児童への対応の仕方の理解が深まった」と考える教職員90%以上	・特別支援教育に関わる研修を年5回以上行い、専門的知識を深める。 ・毎週「子どもを知る会」を実施し、支援についての共通理解を図る。							特別支援コーディネーター
○地域と連携した教育活動の推進	◎地域の人材や、教育資源を活用した体験活動の充実	○「学校は保護者・地域と連携しながら教育を行っている」と考える保護者90%以上	・世界に誇れる有田焼をはじめ、地域の歴史・文化等、地域の人的・物的教育資源を活用した学習を年間を通して計画的に行う。							教頭 指導教諭
○落ち着いた生活態度の育成	○全児童が落ち着いて生活できる静かな環境づくり	○「あいさつ、静かな廊下歩行、無言掃除などができた」という児童が80%以上にする。	・「有田っ子プライド」(月目標)を全職員で共通理解を図り、指導を徹底する。							生徒指導担当

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
-----------------------	--